

図書館通信

静岡大学附属図書館報

No.160



2009.12

- 卷頭言
- 本館リニューアル工事期間中の図書館利用について
- 図書館利用統計
- 教員等著作寄贈図書一覧
- 図書館の動き

卷頭言

Learning Parkへ静岡館リニューアル！ —静岡大学図書館の<文化>を作りませんか



館長 加藤 憲二

大学をとりまく財政状況には厳しさがつづく中、学内の理解を得て静岡本館（これからは静岡本館、浜松分館ではなく、静岡館、浜松館、という呼び方をする方向へチェンジしようと館長としては考えています。そのワケは最後に書きます）では大規模な改修工事に入りました。この策定作業は、いくつかの委員会を経て進めましたが、何より、図書館のモニター会議の学生の皆さんから意見を聞く機会を設け、さらに2度オープンにユーザーの声を聞く機会を持ちました。参加していただいた人の数には限りがありましたですが、2度の図書館リニューアルオープンの意見交換会は予定の時間を超えて学生と教職員の皆さんで考え方やアイデアを交換することができました。2010年4月のリニューアルオープンに向けて工事がちょうど始まりましたが、この機会に皆さんとの意見交換をふまえながら、私が考えてきたことを書いてみます。

なぜ改修をするのか？

21世紀に入り、大学図書館の機能が二極分化する傾向が顕著になってきました。一つは電子

媒体の普及に伴う「見えない図書館」としての機能。特に研究を支える学術情報の提供については、紙媒体から電子媒体への移行が急速に進みました。これは世界的な傾向です。このことによって、学術雑誌の利用について図書館という「場」は不要となり、同時に開館時間という「時」の制約もなくなっていました。このことから図書館のスペースの使い方にも変化が必要だと考えています。もう一つが、活字離れ、図書館離れ。これは、必ずしも世界的な傾向というものではありませんが、我が国の国立系大学では全国的にみられる傾向です。静岡大学では平成17(2005)年度には両館あわせて年間50万人以上の利用がありましたが、2008年度にはそれが44万人へと減じています。媒体の電子化が減少を加速させている側面はあるでしょうが、時代に見合った、魅力ある大学図書館への転身が求められていると考えました。図書館を、大学の中にあって教育と研究のためにもっと自由に、そしてたのしく集まることができる場所へと転換させたいと考えています。Learning Parkをキャッチフレーズにしました。

どのように改修するのか

講義室と図書館、ゼミ室や研究室と図書館がもっと直接につながって、みなさんに有効活用していただきたい、というのが一つ目のコンセプトです。そのために、6階に情報端末機を用意したゼミルームを3つ用意します。一部屋10数人から20人のグループで使っていただけます。可動式の仕切りを動かせば50人規模の講義にも使えます。図書館が毎年新入生全員に行っている情報リテラシーの基礎セミナーにも使いますが、大いに研究室やグループで活用してください。情報コンセントが設置されているだけでなく、必要な図書をすぐ探しにいくことができる魅力もあるかと思います。

つぎに論文作成などに活用していただけるように、少し贅沢な個室ブースを6つ、3階に設けます。それぞれの研究室ではなかなか静謐で広さも確保された空間は得られにくい現状を考えて、設けることにしました。平日は朝9時から夜は10時まで開館している利点も大いに活用してほしいと思っています。

そして今までになかった一番大きな機能としてグループ学習を可能にするスペース（一般にラーニングコモンズと呼ばれるスペース）を5階に設けます。収容人数は約70名。向かい合って気楽に議論ができるようにファストスード店タイプの椅子や、自由に動かすことができるテーブルと椅子を用意します。このスペースをどのように活用するか、図書館の中のどこに設けるかについてはずいぶん悩み、何人の学生や教員とも意見交換しました。活発な利用、新しいかたちでの図書館の利用を、図書館のボディともいえる5階の閲覧空間の先に用意することになりました。コンシェルジェ（Learning concierge）と仮に呼んでいる大学院生の協力を得ようと考えていますが、何より利用者である学生の皆さんで、＜静謐さ＞と＜必要な議論＞とが少しの空間と遮蔽を置いてうまく調和するような、静岡大学図書館の新しい雰囲気、文化を創っていただきたい。図書館はそのお手伝いを大いにさせていただこうと考えています。

図書館のもう一つの機能一人との出会いの空間

空間と書物を提供するだけではなく、図書館にはもう一つ重要な役割があると考えています。それは、研究や教育にかかわって人が出会う、少しく述べた場所でもあるということではないかと思います。

そのひとつに、図書館職員（ライブラリアン）による文献探しなどのサポート機能があります。学生の方々にとっては教員とはひと味違った（そしてここが重要ですが、「やや気楽に」）プロによる勉強や研究に関わる情報収集のサポートが受けられるということがあげられます。ここは大学キャンパスの中で職員と学生が出会う貴重な場だと考えられます。このために、ゆったりとしたカウンタースクエアを4階の正面入り口の奥にもうけます。ぶらっと新聞を読む場所や、留学生がもっぱら活用できる資料などもここに集めます。留学生との出会いが自然な形で増えていけばよいと考えています。

そしてもうひとつ。4階正面入り口の左側の、館長室をギャラリーに改修します。個人やグループで、この空間を使って自分たちの作品や学術成果を紹介する貸しギャラリーにしたいと考えています。もちろんお代はいただきません。トーク会場になってもよいかもしれません。

浜松分館を浜松館へ

静岡大学は残念ながら二つのキャンパスから成り、浜松に約40%の学生がいますが、図書館のスペースや蔵書数、蔵書内容ではこの比率になかなか見合っていません。大学としての経緯があるようですが、不平等感は否めません。そんな中でなんとか清潔感のある図書館を、館員と協力していただいている学生さんたちで維持し、そして浜松分館は実際によく活用されています。私としては館長に就任以来、学生参考図書（この予算そのものが少なすぎて学生あたりにすると約2800円です。授業料の1%程度に何とか増額したいと考えています）の予算配分を浜松に少し厚くしたり、浜松と静岡の間の図書の配達便を隔日から毎日にしたり、浜松分館にあった空きスペース（機器室）を改修して書庫にかえて収納スペースを約1.8万冊分増やしたりしてきましたが、まだまだ不十分です。そのような状況の中で静岡館には上に書いたようなリニューアルの予算を獲得することができました。静岡大学としての基盤を備えつつ、浜松キャンパスの特性に見合った大学図書館に浜松分館をかえていく必要があります。その意味でも、浜松館、という呼び名を用いてはどうかと考えています。館長としての残りの1年、できることは少しづつですが前へ進めようと思います。

本館リニューアル工事期間中の図書館利用について

平成22年4月5日、静岡本館は新たに教育・研究の役割を担う図書館空間として生まれ変わります。リニューアルのコンセプトは、“Learning Park”です。「Learning」は学習、研究する場としての図書館、「Park」は人が行き交う都市の中の公園をイメージしています。

今日までに、学生モニター会議、教員の加わったワーキング・グループ、全学教職員・学生を対象に行った2度の説明会等において、利用者の方々の意見も伺いながらリニューアル構想を作成してきました。

★ リニューアルの具体的な内容

・3階閲覧室

雑誌をブラウジングできるスペースに。電子ジャーナルも閲覧可能なよう端末も設置。集中して学習できる個人ブースも設置。

・4階閲覧室

留学生コーナー、マルチメディアコーナー、新聞コーナーをメインフロア中央に移設。南側のスタディエリアには資料を広げられる広いデスクに端末を常設。

・5階閲覧室

閲覧室は従来どおり静謐な空間を確保。

・5階ハーベストルーム

会話OKな広い部屋にレイアウトフリーの椅子と机。PCやホワイトボードも用意します。グループ学習など自由に活用してください。海の見える窓際には座り心地のよいソファを設置。

・6階セミナー室

ゼミや授業などでグループ利用できるセミナー室。パーテーションで3室まで用意できます。

・トイレ

広く清潔なトイレに。女性用にはパウダースペースも。また4階には多目的トイレを新設。

★ 工事予定について

第一期工事（12月から1月末まで）

- ・3階閲覧室の天井と床の工事
 - ・4階閲覧室の天井と床をOAフロアにする工事
 - ・6階大会議室をセミナー室に改造
 - ・事務室の一角を館長室に改修
 - ・3階、5階のトイレ工事と4階にトイレ新築（トイレ工事は二期工事までかかります）
- * 1月下旬に3階、4階、6階に新しい机や椅子などが設置されます。

2月1日から2月14日

- * 試験期間中のため、工事を一時中断して試験勉強に集中できるようにします。
- * 3階閲覧室と4階閲覧室は利用可能となります。5階閲覧室も従来どおり利用可能です。

第二期工事（2月15日から3月末まで）

- ・ハーベストルームの床をOAフロアにする工事
 - ・図書館カウンタをOAフロアにする工事
 - ・館長室をギャラリースペースに改修する工事
 - ・階段の改修工事
- * 3月下旬に5階北側閲覧室に書架、5階ハーベストルームに新しい机や椅子などが設置されます。

静岡本館開館日程

*浜松分館の開館日程は、p.8をご覧ください。

2009年12月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

2010年1月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

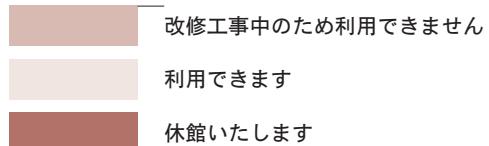
2月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						

3月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

9:00～22:00
9:00～19:00
休館

*開館日・開館時間は変更されることがあります。
臨時に休館する場合は、別途お知らせします。

★ 4月5日リニューアルオープンまでの図書館利用について



●利用できる場所と利用できない場所

場 所		説 明	12月	1月	2月	3月
入 口	正面入口	工事なし				
入 口	西側入口	トイレ工事の影響で通れなくなります		利用できません		
3 階	閲覧室	1月末までリニューアル工事		利用できません		
4 階	フロア	トイレ工事の影響で新聞コーナーより西は出入り不可				
4 階	閲覧室	1月末までリニューアル工事		利用できません		
5 階	閲覧室	トイレ工事で騒音あり (工事日程は決定次第掲示します。また、2月の試験期間中は工事をストップします。)	(騒音あり)	(騒音あり)		2月18日(木)より休館
5 階	ハーベスト	1月末までは3階と4階にあった資料の置き場に。2月試験終了後にリニューアル工事			利用できません	
書 庫	2階旧館（和図書配架部分） * 総記、哲学、歴史、社会科学分野の和書	12月7日より3月10日まで業者による点検作業。利用は可能ですが、点検業務の支障となるため、2階和図書をご利用の際は職員に申し出てください		(書庫内図書点検作業中のため職員に申し出てください)		
書 庫	3階、2階新館、1階	利用可				
トイレ	3階と5階トイレ	3階と5階のトイレを拡大し、4階にもトイレを増設します。		利用できません		
	ハーベストのトイレ ハーベスト入口右手職員用トイレ	職員用トイレを開放				

4月5日(月)リニューアルオープン

● 3階4階の資料臨時配架場所

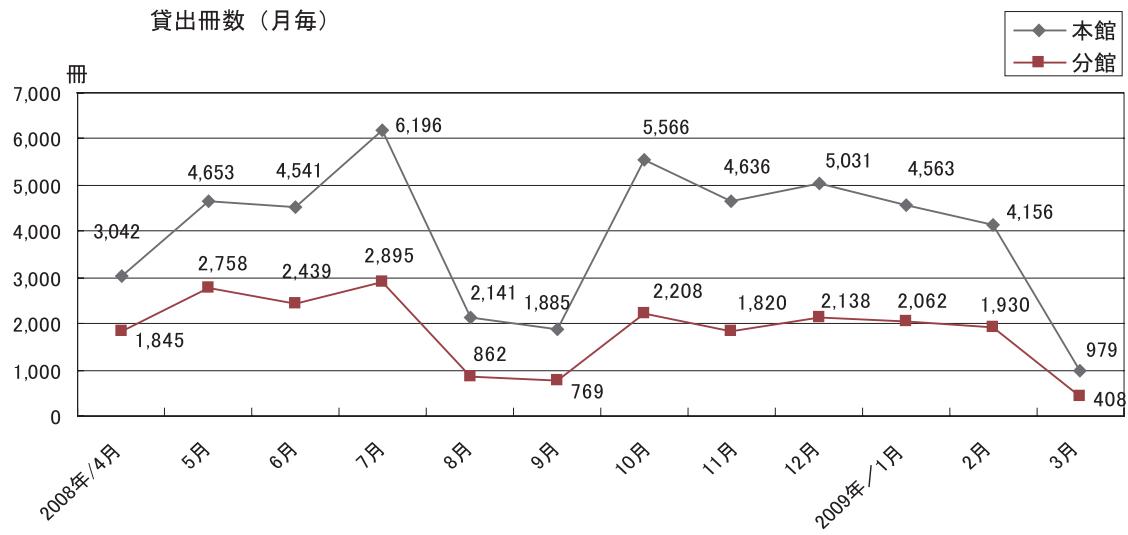
場 所	資 料	12月	1月	2月	3月
3 階	新聞縮刷版	5階閲覧室	5階閲覧室	5階閲覧室	
3 階	留学生用図書	ハーベスト	ハーベスト	4階閲覧室	
3 階	自然科学系用雑誌	ハーベスト	ハーベスト	3階閲覧室	
3 階	和雑誌バックナンバー	ハーベスト	ハーベスト	3階閲覧室	
4 階	学生用雑誌	ハーベスト	ハーベスト	3階閲覧室	
4 階	参考図書（白書、統計及び利用頻度の高い辞書類）	ハーベスト	ハーベスト	4階閲覧室	



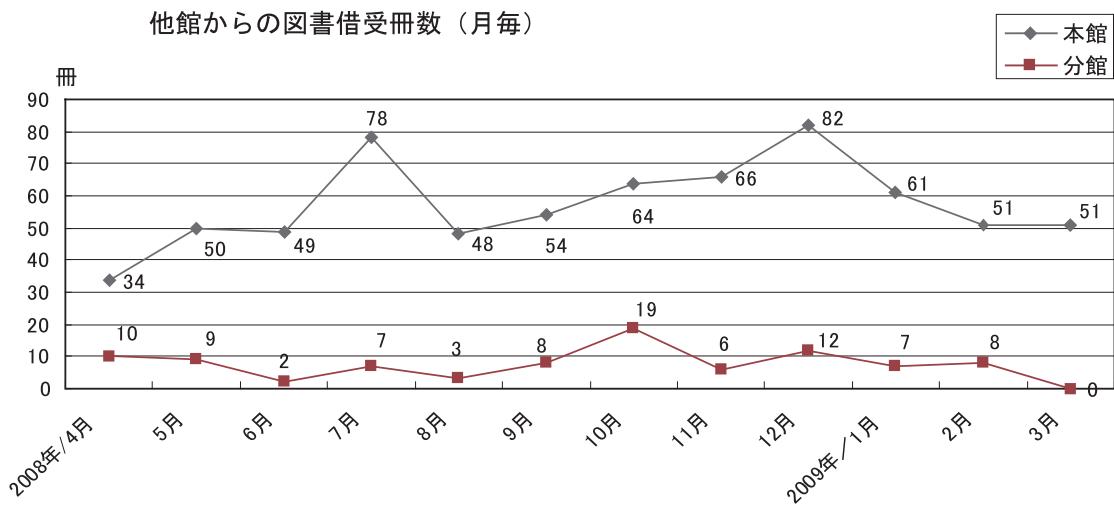
平成20年度図書館利用統計



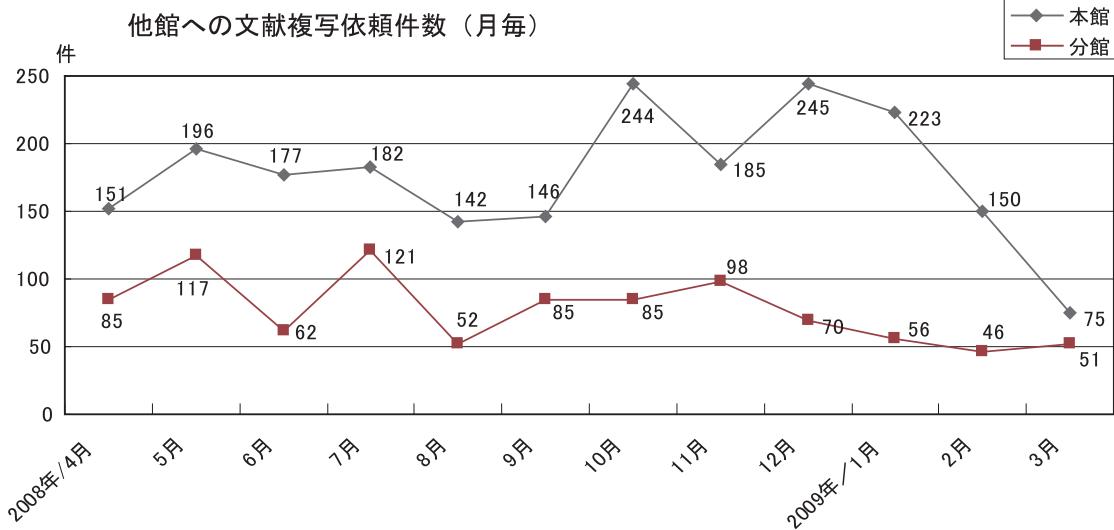
貸出冊数（月毎）



他館からの図書借受冊数（月毎）



他館への文献複写依頼件数（月毎）



～～～教員等著作寄贈図書一覧～～～

このリストは本学教職員により著作(等)され図書館にご恵贈していただいた図書を一覧にしたものです。(各館五十音順)

●本館受入

- ◇岡崎真紀子（人文学部）
 - ・やまとことば表現論 笠間書院
静・開架[911.132/O48] <著>
 - ・慈円難波百首全釈／慈円和歌研究会著 風間書房 静・書庫[911.18/U96/12] <執筆>
- ◇小和田哲男（名誉教授）
 - ・悪人がつくった日本の歴史 中経出版
静・開架文庫[281.04/O93/B] <著>
 - ・天下人に学ぶ逆転勝利の戦略 梧桐書院
静・開架[281.04/O93] <著>
- ◇熊野善介（教育学部）
 - ・科学技術リテラシーに関する基礎文献・先行研究に関する調査
長崎栄三（国立教育政策研究所）
静・書庫[375.4/N21] <研究分担者>
- ◇近昭夫（名誉教授）
 - ・統計・企業情報データベースと経済分析 青木書店 静・書庫 [331.19/KO71] <編>
- ◇鈴木清史（人文学部）
 - ・人類学とは何か／トマス・ヒランド・エリクセン著 世界思想社
静・書庫 [389/E67] <訳>
 - ・人類学の歴史：人類学と人類学者 / アダム・クーパー著 明石書店
静・書庫 [389/KU49] <訳>
 - ・アメリカのろう文化／シャーマン・ウィルコックス編 明石書店
静・書庫 [369.27/W73] <訳>
- ◇土 隆一（名誉教授）
 - ・家族を守りぬく東海地震講座／土隆一, 森村純一編著 清文社
静・書庫 [369.31/TS25] <編著>
- ◇西川義晃（人文学部）
 - ・企業法制の現状と課題／上村達男編 日本評論社 静・書庫 [325.2/U42] <執筆>
- ◇布川日佐史（人文学部）
 - ・生活保護の論点 山吹書店
静・書庫 [369.2/F72] <著>
- ◇松田純（人文学部）
 - ・International symposium on history and culture of medicine and pharmacy Shizuoka University
静・書庫 [498.02/I57] <研究代表者>
 - ・International symposium on life and care bioethics in comparative cultural perspective Shizuoka University
静・書庫 [498.02/I57] <研究代表者>
 - ・ケースブック心理臨床の倫理と法／松田純[ほか]編 知泉書館
静・書庫 [146/MA74] <編>

◇間庭充幸（名誉教授）

- ・現代若者犯罪史 世界思想社
静・書庫 [368.7/MA44] <著>
- ◇南山浩二（人文学部）
 - ・医師と患者のライフストーリー／輸入血液製剤によるHIV感染問題調査研究委員会編 第1-3分冊 ネットワーク医療と人権
静・書庫 [498.6/Y98/1-3] <研究分担者>

●分館受入

- ◇荒川章二（情報学部）
 - ・竜洋町史 通史編、別編 竜洋町
浜・開架 [215.4/R99/3-3a] <編さん専門委員長>
 - ・豊かさへの渴望 小学館
浜・開架 [210.1/Z3/16] <著>
- ◇伊藤富夫（教育学部）
 - ・海と生物の世界が人間に教えてくれること サイエンスハウス
浜・開架 [467.5/I89] <著>
- ◇戎俊男（工学部）
 - ・デジタルを学ぶロボット中級講座／戎俊男[ほか]著 ITSC静岡学術出版事業部
浜・開架 [548.3/D54] <共著>
- ◇大野旭（人文学部）
 - ・モンゴル族からみた中国文化大革命の実証研究 静岡大学人文学部
浜・書庫 [312.227/Y72] <研究代表>
 - ・モンゴル人ジェノサイドに関する基礎資料 風響社
浜・書庫 [312.227/Y72/1] <編>
- ◇熊野善介（教育学部）
 - ・理数科教師が継続して主体的に授業を検討・改善するための国際連携研究 [静岡大学]
浜・書庫 [375.4/KU34] <研究代表>
- ◇杉原弘章（工学研究科客員教授）
 - ・マルチPERT ITSC静岡学術出版事業部
浜・開架 [509.65/SU34] <著>
- ◇永田照三（工学部）
 - ・作って学ぶロボット入門講座／永田照三[ほか]著 ITSC静岡学術出版事業部
浜・開架 [548.3/TS69] <共著>
- ◇矢野敬一（教育学部）
 - ・食文化から社会がわかる！／原田信男[ほか]著 青弓社
浜・開架 [383.8/SH96] <執筆>
- ◇吉田敬一（元工学部）
 - ・大人のための名作パズル 新潮社
浜・開架 [410.79/Y86] <著>
 - ・教養・コンピュータ 第4版 共立出版
浜・開架 [007.6/Y86] <著>

●本館・分館共通受入

◇伊藤富夫（教育学部）

- ・歴史の中のカブトガニ サイエンスハウス
静・書庫／浜・開架 [485.6/I89] <監修>

◇宇都宮裕章（教育学部）

- ・生態学が教育を変える／Leo van Lier著
ふくろう出版

静・開架／浜・開架 [807/V26] <訳>

◇佐藤誠二（人文学部）ほか

- ・グローバル社会の会計学／佐藤誠二編著 森山書店

静・開架／浜・開架 [336.9/SA85] <編著>

◇里村幹夫（理学部）

- ・地震防災 学術図書出版社

静・書庫／浜・開架 [369.31/SA87] <編>

◇竹之内裕文（創造科学技術大学院）

- ・どう生きどう死ぬか／岡部健, 竹之内裕文編

弓箭書院

静・書庫／浜・開架 [490.15/O37] <共編>

◇三村秀典（電子工学研究所）ほか

- ・ナノビジョンサイエンス／三村秀典 [ほか]
共著 コロナ社

静・書庫／浜・開架 [547.8/N48] <共著>

◇山下光司（創造科学技術大学院）

- ・がんを安全・高感度で鮮明に画像化できるナノサイズシュガーボールデンドリマー型新規MRI造影剤の開発研究 平成20年度 [山下光司]

静・書庫／浜・書庫 [492.43/Y44/2008]

<研究代表>

◇楊海英（人文学部）

- ・中国边境民族的迁徙流动与文化动态／塚田诚之, 何明主编 云南出版集团公司

静・書庫／浜・開架 [389.22/TS52] <執筆>

図書館の動き

◆行事

静大フェスタ

<平成21年5月30日（土）・31日（日）於：ツインメッセ静岡>

静岡大学創立60周年（平成21年6月）の記念事業として様々な催し物を行い、図書館では「写真で見る静大のあゆみ」と題した写真パネル展を行った。当日は多数の来場者が訪れ、盛況のうちに終了した。

◆会議等

平成21年度東海・北陸地区国立大学図書館協会総会

（平成21年4月24日（金）於：愛知教育大学）

附属図書館長、学術情報部長、図書館情報課長が出席。

第4回「国立大学附属図書館の課題に関する館長懇談会」、平成20年度国立大学図書館協会地区助成事業『「ラーニング・コモンズ」フォーラム』等の報告があった。

引き続き、会長館の選出、第56回国立大学図書館協会総会に向けた準備事項、電子ジャーナルの契約変更通知への対応、新地区体制での図書館職員研修の実施、平成21年度国立大学図書館協会地区助成事業（案）等について活発な協議が行われた。

第56回国立大学図書館協会総会

<平成21年6月19日（金）於：新潟コンベンションセンター>

附属図書館長、学術情報部長、図書館情報課長が出席。

91大学・機関が出席し、協会活動についての経過報告に続き平成20年度決算報告、平成21年度事業計画（案）・予算（案）などについて協議が行われた。

また、文部科学省研究振興局情報課長から、学術情報基盤作業部会における審議状況、平成21年度予算及び平成22年度概算要求、「学術情報基盤実態調査」の結果、国立大学図書系の人事等についての所管事項説明があった。引き続き、テーマごとにワークショップが行われ、学習情報流通改革における電子ジャーナル及び学術基盤リポジトリの整備、学習・教育活動と連携した図書館サービス、の2つのテーマについて活発な討議が行われた。

平成21年度静岡県大学図書館協議会総会

<平成21年7月21日（火）於：静岡県立大学>

附属図書館長、図書館情報課長、副課長が出席。

16館から22名が参加し、平成20年度経過報告のあと、平成20年度決算報告（案）及び同会計検査報告、平成21年度事業計画（案）及び同予算（案）等についての協議が行われた。また、加盟館状況報告では、設置形態が異なる図書館ごとに最近の図書館の状況について報告があり、加盟館相互の連携を深める上で有意義な情報交換が行われた。

平成20年度第4回附属図書館委員会

平成21年3月11日（水）

○審議事項

1. 平成21年度図書館予算について
2. 平成21年度附属図書館開館日程について
3. 除籍予定図書の不用決定について

○報告事項

1. 自動入退館装置設置に伴う入退館方法の変更について
2. 浜松分館電動集密書架設置について
3. 静岡大学学術リポジトリ平成20年度報告について
4. 平成22年度概算要求事項について
5. 平成21年度新入生セミナーにおける図書館利用セミナー（ベイシック編）実施の依頼および図書館利用セミナー（アドバンス編）開催についての案内について
6. 次期中期目標・中期計画について
7. その他
 - (1) 電子ジャーナル及び二次資料データベースに関するアンケートについて

平成21年度第1回附属図書館委員会

平成20年4月30日（木）

○審議事項

1. 附属図書館関連委員会委員等について
 - (1) 広報委員会委員
 - (2) 情報基盤センター運営委員会委員
 - (3) 図書館通信編集委員

- (4) 附属図書館自己点検・評価実施委員会委員
- (5) リポジトリ・静岡大学ジャーナルWG
- (6) 資料収集WG
- (7) 本館リニューアル (ラーニング・パーク)
WG
- (8) 浜松分館概算要求検討WG

2. 静岡大学における電子学術情報基盤のあり方について

○報告事項

1. 平成21年度利用学生モニター募集について
2. その他
 - (1) 本館リニューアルに関する検討の現状について
 - (2) 電子ジャーナル&二次資料データベース利用統計について
 - (3) e-Bookの現状について

平成21年度第2回附属図書館委員会

平成21年7月23日(木)

○審議事項

1. 平成20年度図書館経費決算について
2. 平成21年度図書館経費予算(案)について
3. 平成21年度学生用図書購入費の配分(案)等について

○報告事項

1. 附属図書館利用状況について
2. 本館リニューアル構想について
3. 平成21年度図書館利用セミナー(ベイシック編)他実施報告について
4. 研究室貸出図書の点検予定について
5. 停電における図書館の休館について

◆人事異動

平成21年8月1日付

- 小野 華子 (学術資料スタッフ主任(雑誌情報担当)
→学術資料スタッフ主任(図書情報担当))
松下 昭重 (学術資料スタッフ→利用サービススタッフ)
横山 芳美 (図書館マネジメントスタッフ→学術資料スタッフ)

◆平成21年度附属図書館委員会委員

館長	加藤憲二
分館長	中島伸治
人文学部	鈴木清史
教育学部	鳥居 肇
情報学部	北澤茂良
理学部	坂本健吉
工学部	小野 仁
農学部	西田友昭
創造科学技術大学院	吉村 仁
法務研究科	阿波連正一
電子工学研究所	村上健司
大学教育センター会議	大石倫子
学術情報部長	大久保政博

◆平成21年度図書館通信編集委員

館長	加藤憲二
分館長	中島伸治
大学教育センター会議 (附属図書館)	大石倫子
	荃田美保子
	小林由佳里
	真中 進
	森部圭亮

開館日程 [2009年12月～2010年3月]

浜松分館開館日程

*静岡本館の開館日程は、p.3をご覧ください。

2009年12月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

2010年1月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						

3月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

9:00～22:00	9:00～17:00
9:00～19:00	休館
12:00～22:00	

※開館日・開館時間は変更されることがあります。
臨時に休館する場合は、別途お知らせします。

静岡大学附属図書館報「図書館通信」第160号 (平成21年12月25日発行)

発行所 静岡大学附属図書館

URL <http://www.lib.shizuoka.ac.jp/>

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836

Tel.054-238-4474 Fax.054-238-5408 (再生紙使用)

